

一 般 質 問 (3ページ~6ページ)

12月2・3・4・7日

原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(みどり・市民ネット)	みどり・市民ネット
(日本共産党)	日本共産党
(民主党)	民主党
(公明党)	公明党
(自民党)	自由民主党
(自由連合)	自由民主クラブ
(改革連合)	改革連合
(市民)	こがねい市民会議

特別に支援が必要な子ども達の施策について



鈴木成夫(民主・社民)

①特別支援ネットワーク協議会について。(ア)目的は何か。(イ)傍聴しにくい会議の開催時間を再検討できないか。(ウ)委員の構成について、市民公募委員が少なくないか。

指導室長 (ア)市全体でかわる施策の取組について、まず、部局が口火を切る形で広げ、つなげていきたい。

学校教育部長 (ア)第2回目で、課題を出して協議したい。(イ)委員の方の勤務時間を考慮した。今後の開催時間に対しては、伺ってみたい。(ウ)PTA連合会・特別支援学級代表者を市民代表と数え、5名で

市民参加条例上の30%はいかないが、委員の20%とした。ピノキオ幼稚園代表出席は、全くやぶさかではない。協議会で検討する。

②障がい児の学童保育所入所について。1学童2名定員の障がい児枠の弾力的運用はできないか。

子ども家庭部長 保育環境を考え2名受入れになつていく。9学童18名の枠の中の弾力的運営に関しては、これから検討していく。

その他、「市内公園のトイレ増設について」を質問しました。

市道573号線の交通安全対策の強化を求める



武井正明(民主・社民)

①市道573号線(友愛会館前から二枚橋に抜ける道路)の交通安全対策の強化を求めたい。(ア)現在入口に交通規制時間帯に交通誘導員が配置されているが十分機能していない。指導を強めるべき。(イ)通過車両が交通規制を避け周辺道路を迂回して二枚橋に抜けている対策を考えるべきと思うがどうか。(ウ)進入口に時々警察官に立つてもらつたなど警察署との連携を強めるべきと思う。

都市整備部長 (ア)業務日誌をつけ確認している中では委託内容どおりの作業をしてもらつていると思う。(イ)警察署

や地元の方とも相談して考えたい。(ウ)指摘の点申入れも含め考えていきたい。

②指定金融機関の見直しについて。(ア)昭和48年に旧富士銀行に指定を変えた理由は、(イ)指定が長期化しサービス低下の声もあるがどうか。(ウ)見直し基準を考えるべきと思う。

企画財政部長 (ア)市民要望、議会の意見だった。(イ)その都度注意、指導を行っている。(ウ)明確な見直し基準について可能かどうか検討したい。

これからの地域サービスは市民が主役



齋口哲治(自民党小金井)

小金井市は財政が厳しいといった状況である。全市民のことは市が中心で市民の皆さんの意見を尊重しながら仕事に取り組みが、地域のことは地域が中心で考えていく。市と市民が協力し合い、それぞれの役割分担を認め合いながら市民の要望をかなえていくことが求められている。(ア)市はこうした方向性をいかに考えるか。(イ)緑を大切にす活動と落ち葉公害対策を同時に取り組む、公園や道路沿いの花壇を管理することと道路の清掃をする、ドッグランをつくるが合わせてふん害対策の

主導的役割を担うなど、美と醜をセットにして心ある団体・市民と行政との協定を結ぶべきだ。

企画財政部長 (ア)自分たちのまちは自分たちでつくるという理念で、本市の行政が目指すところの市民協働・公民連携を基本原則とした地域力の向上というところを考える。

市長 (イ)まちをみんなできれいに整備していくことは大切なことだ。市の仕事の遂行には市民との協力関係は重要だが、ボランティアの人に美と醜をセットでお願いするということにはならない。

市内緑の保全について



中山克己(自民民主)

市域の緑被率について平成11年の調査では29・5%だが現状は、この間どれくらい緑が失われたか。市内の緑の保全是、農地保全の課題や相続の関係から行政努力のみでは限界があると考えている。今後は市民を交えた地域一体での保全が必要不可欠になると考えているが今後の保全についての市の方針は。

環境政策課長 現在分析中だが今回の調査では27・9%約1・6%(18ha相当)の緑が減少。上水公園のようなおむね1・5haの公園が12個分程度なくなつた勘定になる。

この他にも、『食用廃油回収の促進について』、『清里山荘シャトルバスの提案について』、『防火防炎の地域の取組みとしての消火栓使用等について』質問いたしました。

農業活性化によるまちづくりを考えないか



小林正樹(公明党)

①ハード面でのまちづくりが進む中で、小金井の特徴である「農業」にもっと光を当てた小金井らしいまちづくりを進めるべきではないか。(ア)市の財産とも言える小金井の農業の価値をどのようにとらえているのか。(イ)駅前のみちづくりと農業との連携を常に意識するべきではないか。

市長 (ア)農業の果たす役割は大きいと考える。更に活性化させていく必要があると思つている。

市民部長 (イ)コミュニティ広場を利用したイベント開催の可能性は十分検討に値する

と考える。駅前の朝市というのは大変よい提案だと思う。関係者と連携し前向きに検討したい。高架下を利用した直売所は是非実現をしていきたいと考えている。

②庁内の情報セキュリティ対策は十分にできているのか。総務部長 文書管理規程第16条に基づいて再度、文書の適切な管理について職員に周知徹底したい。

情報システム課長 電子データの持ち出し方法に関しては、利用状況と安全性を確保する観点で、今後も新たな技術を都度検討していきたい。

小金井でも事業仕分けの実施を



渡辺大三(みどり・市民)

①(ア)国の「事業仕分け」に対する市長の評価は。(イ)小金井市でも、速やかに「事業仕分け」を実施すべきではないか。

市長 (ア)国民が予算編成に非常に関心を持ったのは効果があつたが、ある程度の期間を見ないと評価しにくい。

企画財政部長 (イ)市民公開で、外部の目を入れるのは非常に意義深い。検討を進め実施できるものはしていきたい。

②市庁舎建設市民検討委員会の設置について。(ア)本定例議会に設置予算を提出し、年度内の設置を。(イ)委員は公募

委員を中心とし、公開の場所での抽選で選出するべき。

長期総合計画等担当部長 (ア)現在までのところ、当初予算で来年度の設置を予定している。(イ)抽選方式による選出も考慮しながら検討していきたい。

市長 (ア)それ以外の方法も検討してみたい。

③新ごみ施設は、煙突を必要としない「非焼却」方式を導入すべきではないか。

市長 何が何でも焼却で行くという考えではない。

ごみ処理施設担当部長 「焼却が基本」と考えている。